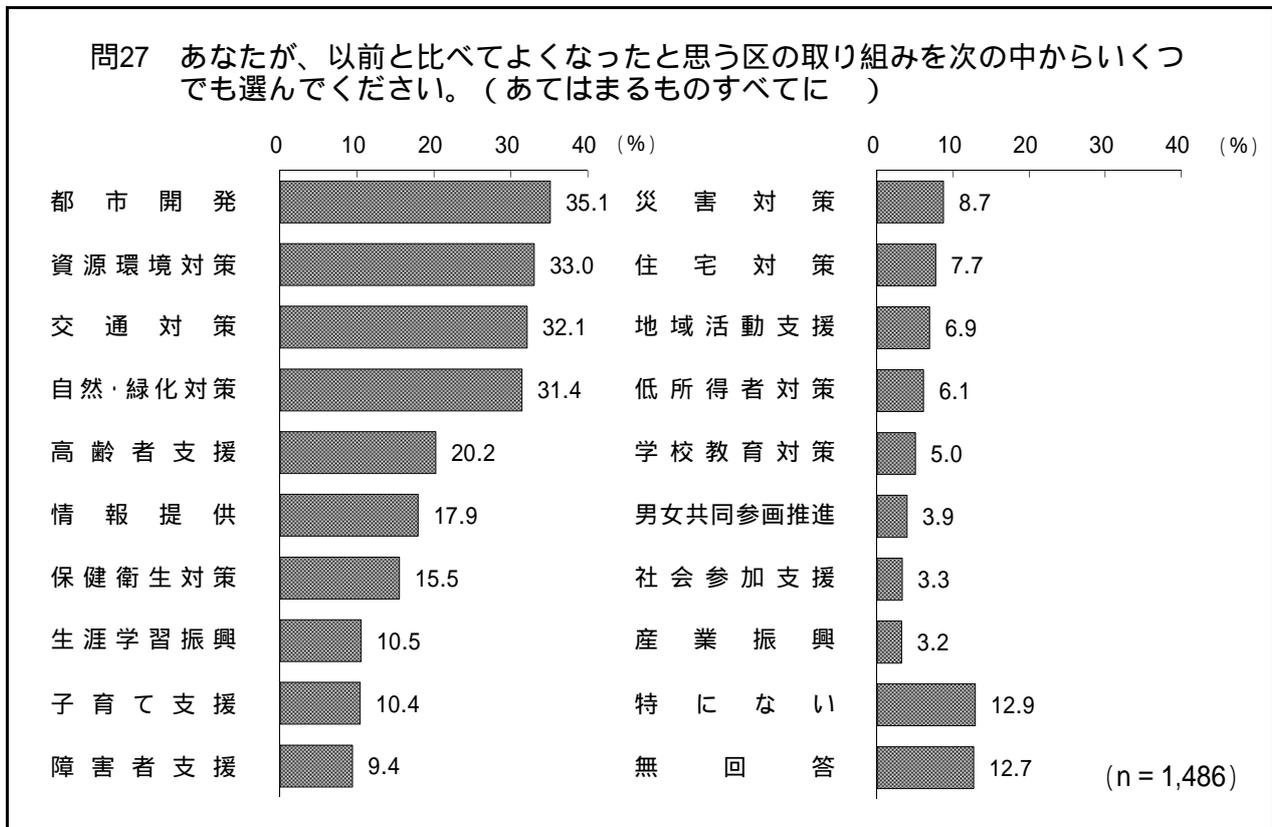


## 5 区 政

### (1) 以前と比べてよくなったと思う区の取り組み

「都市開発」が第1位



区の取り組み	内 容	区の取り組み	内 容
都市開発	開発・再開発、美しい街並みや景観づくりなど	子育て支援	保育サービスや子育て相談の充実など
自然・緑化対策	公園や緑地、河川の整備など	住宅対策	良質な住宅の供給支援など
交通対策	道路や交通網の整備、交通安全対策など	災害対策	防災活動の充実、都市の不燃化など
資源環境対策	省エネルギー、ごみ処理、リサイクルなど	低所得者対策	生活の援助や自立支援など
高齢者支援	在宅生活や介護の支援、施設の整備、生きがい対策など	地域活動支援	町会・自治会活動の支援、青少年の健全育成など
情報提供	広報やホームページなどによる区政情報の提供など	産業振興	商工業の支援、企業起こしの支援、消費者対策など
保健衛生対策	健康づくり、健康診査、生活衛生など	学校教育対策	教育内容の充実、施設の改修など
生涯学習支援	文化・スポーツ活動の支援、施設の充実など	男女共同参画推進	男女が平等に社会参加できるしくみづくりなど
障害者支援	在宅生活や介護の支援、施設の整備、就労支援など	社会参加支援	NPOやボランティアの育成や支援など

以前と比べてよくなったと思う区の取り組みをあげてもらったところ、「都市開発」が35.1%と最も多く、次いで「資源環境対策」(33.0%)、「交通対策」(32.1%)、「自然・緑化対策」(31.4%)、「高齢者支援」(20.2%)が上位にあげられている。

地域ブロック別にみると、表5 - 1 - 1のとおりである。全13ブロック中、各ブロックで第1位を占めるのは多い順に「都市開発」（4ブロック）、次いで「自然・緑化対策」、  
「交通対策」、「資源環境対策」（各々3ブロック）となっている。

表5 - 1 - 1 以前と比べてよくなったと思う区の取り組み 上位5項目（地域ブロック別）  
(%)

	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体	1,486	都 市 開 発 (35.1)	資 源 環 境 対 策 (33.0)	交 通 対 策 (32.1)	自 然 ・ 緑 化 対 策 (31.4)	高 齢 者 支 援 (20.2)
第 1 ブ ロ ッ ク	193	都 市 開 発 (39.4)	資 源 環 境 対 策 (29.0)	交 通 対 策 (26.9)	自 然 ・ 緑 化 対 策 (22.3)	高 齢 者 支 援 / 情 報 提 供 (19.2)
第 2 ブ ロ ッ ク	102	都 市 開 発 (36.3)	資 源 環 境 対 策 (29.4)	交 通 対 策 (28.4)	自 然 ・ 緑 化 対 策 (25.5)	高 齢 者 支 援 (20.6)
第 3 ブ ロ ッ ク	98	都 市 開 発 (35.7)	資 源 環 境 対 策 / 交 通 対 策 (33.7)		高 齢 者 支 援 (24.5)	保 健 衛 生 対 策 / 情 報 提 供 (14.3)
第 4 ブ ロ ッ ク	100	資 源 環 境 対 策 (35.0)	自 然 ・ 緑 化 対 策 (33.0)	都 市 開 発 (30.0)	交 通 対 策 (27.0)	高 齢 者 支 援 (17.0)
第 5 ブ ロ ッ ク	137	都 市 開 発 (38.0)	自 然 ・ 緑 化 対 策 (35.8)	交 通 対 策 (34.3)	資 源 環 境 対 策 / 情 報 提 供 (23.4)	
第 6 ブ ロ ッ ク	153	自 然 ・ 緑 化 対 策 (35.9)	都 市 開 発 (33.3)	資 源 環 境 対 策 (30.1)	交 通 対 策 (26.8)	情 報 提 供 (16.3)
第 7 ブ ロ ッ ク	113	交 通 対 策 (42.5)	資 源 環 境 対 策 / 自 然 ・ 緑 化 対 策 (39.8)		都 市 開 発 (32.7)	高 齢 者 支 援 (26.5)
第 8 ブ ロ ッ ク	98	資 源 環 境 対 策 (43.9)	交 通 対 策 (41.8)	都 市 開 発 (38.8)	自 然 ・ 緑 化 対 策 / 保 険 衛 生 対 策 (25.5)	
第 9 ブ ロ ッ ク	72	自 然 ・ 緑 化 対 策 (47.2)	都 市 開 発 (41.7)	資 源 環 境 対 策 (36.1)	高 齢 者 支 援 (29.2)	交 通 対 策 (26.4)
第 10 ブ ロ ッ ク	129	資 源 環 境 対 策 (31.8)	自 然 ・ 緑 化 対 策 / 都 市 開 発 (29.5)		交 通 対 策 (28.7)	高 齢 者 支 援 (21.7)
第 11 ブ ロ ッ ク	99	交 通 対 策 (37.4)	資 源 環 境 対 策 (34.3)	都 市 開 発 (32.3)	自 然 ・ 緑 化 対 策 (23.2)	高 齢 者 支 援 (14.1)
第 12 ブ ロ ッ ク	83	自 然 ・ 緑 化 対 策 (37.3)	資 源 環 境 対 策 (36.1)	都 市 開 発 (30.1)	交 通 対 策 (27.7)	保 健 衛 生 対 策 (25.3)
第 13 ブ ロ ッ ク	109	交 通 対 策 (39.4)	都 市 開 発 (37.6)	資 源 環 境 対 策 (36.7)	自 然 ・ 緑 化 対 策 (34.9)	保 健 衛 生 対 策 (23.9)

ブロック区分



性・年代別にみると、表5 - 1 - 2のとおりである。第1位を占めるのは多い順に「交通対策」で男性のみ、4つの年代で出現している。「都市開発」も4つの年代で出ているが、内訳は女性で3つの年代、男性で1つの年代となっている。次いで、「自然・緑化対策」と「資源環境対策」が各々3つの年代で出現している。

表5 - 1 - 2 以前と比べてよくなったと思う区の取り組み 上位5項目 (性・年代別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全	体	1,486	都市開発 (35.1)	資源環境対策 (33.0)	交通対策 (32.1)	自然・緑化対策 (31.4)	高齢者支援 (20.2)
男	20代	49	交通対策 (34.7)	都市開発 (32.7)	自然・緑化対策 (22.4)	住宅対策 (18.4)	生涯学習振興 (14.3)
	30代	114	交通対策 (38.6)	交通対策 (35.1)	自然・緑化対策 (28.9)	資源環境対策 (24.6)	情報提供 (17.5)
	40代	95	交通対策 (31.6)	都市開発/資源環境対策 (27.4)		自然・緑化対策 (23.2)	情報提供 (20.0)
	50代	97	自然・緑化対策 (36.1)	都市開発 (33.0)	資源環境対策 (29.9)	交通対策 (22.7)	情報提供 (17.5)
性	60代	133	都市開発/資源環境対策/自然・緑化対策 (43.6)			交通対策 (36.8)	保健衛生対策 (27.1)
	70歳以上	125	交通対策 (48.8)	自然・緑化対策 (44.8)	資源環境対策 (40.0)	高齢者支援 (36.8)	都市開発 (35.2)
女	20代	85	都市開発 (40.0)	交通対策 (27.1)	資源環境対策 (21.2)	自然・緑化対策 (20.0)	高齢者支援 (9.4)
	30代	152	資源環境対策 (35.5)	都市開発 (34.2)	交通対策 (32.2)	子育て支援 (21.7)	自然・緑化対策 (20.4)
	40代	123	都市開発 (35.0)	資源環境対策 (32.5)	交通対策 (30.9)	自然・緑化対策 (25.2)	情報提供 (16.3)
	50代	152	都市開発 (44.7)	資源環境対策 (41.4)	自然・緑化対策 (34.2)	交通対策 (32.2)	情報提供 (18.4)
	60代	191	資源環境対策 (42.4)	自然・緑化対策 (39.3)	都市開発 (38.2)	高齢者支援 (29.8)	情報提供 (22.0)
	70歳以上	143	自然・緑化対策 (31.5)	交通対策 (28.7)	高齢者支援 (27.3)	都市開発 (22.4)	保健衛生対策 (21.0)

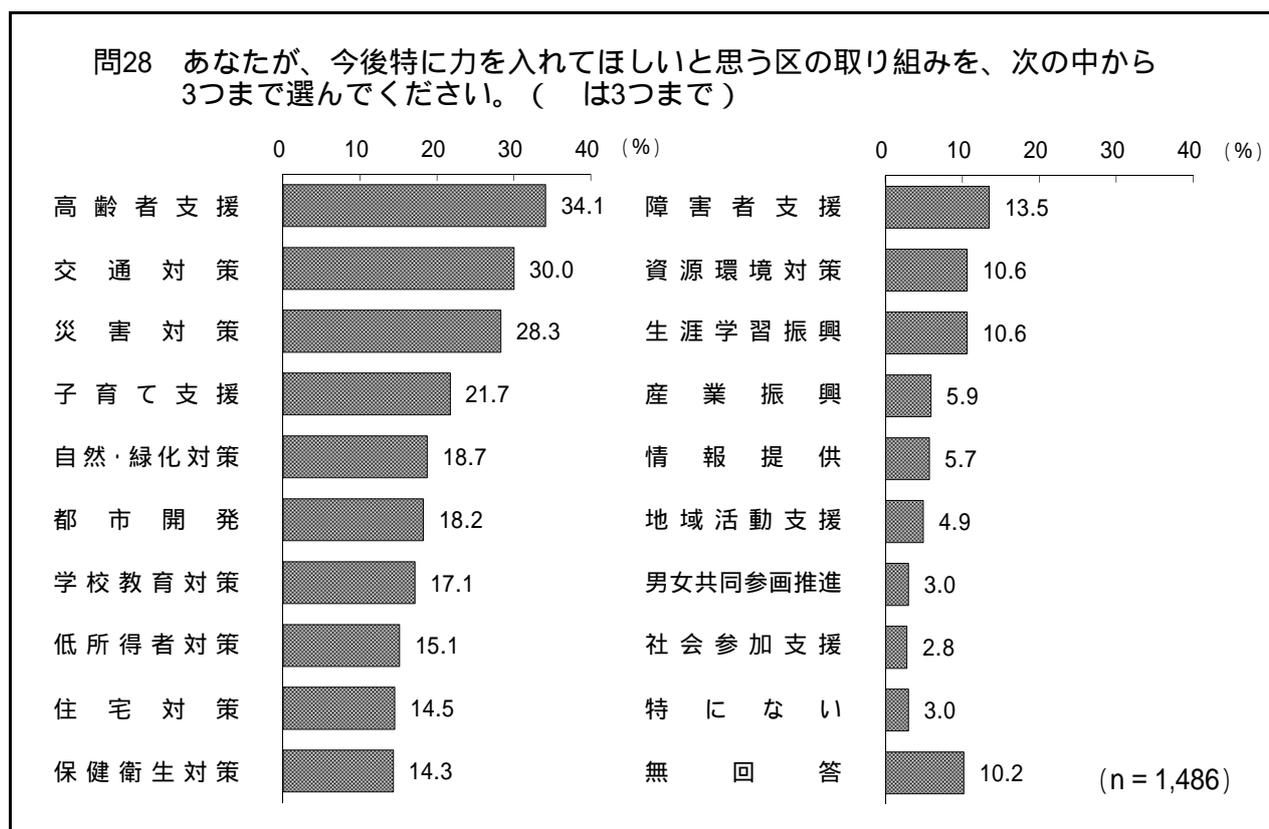
表5 - 1 - 3 以前と比べてよくなったと思う区の取り組み 上位5項目の推移

区の取り組み	平成16年の上位		平成17年の上位		平成16年と 平成17年の差
	順位	%	順位	%	
都 市 開 発	第1位	31.7	第1位	35.1	+3.4
自 然 ・ 緑 化 対 策	第2位	28.8	第4位	31.4	+2.6
交 通 対 策	第3位	25.6	第3位	32.1	+6.5
資 源 環 境 対 策	第4位	22.6	第2位	33.0	+10.4
高 齢 者 支 援	第5位	21.2	第5位	20.2	-1.0

以前と比べてよくなったと思う区の取り組みのうち、平成16年と比べ、「高齢者支援」が1.0ポイント低下した以外は全て上昇している。

## (2) 今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組み

「高齢者支援」が最も多い



区の取り組み	内 容	区の取り組み	内 容
高齢者支援	在宅生活や介護の支援、施設の整備、生きがい対策など	障害者支援	在宅生活や介護の支援、施設の整備、就労支援など
交通対策	道路や交通網の整備、交通安全対策など	保健衛生対策	健康づくり、健康診査、生活衛生など
子育て支援	保育サービスや子育て相談の充実など	資源環境対策	省エネルギー、ごみ処理、リサイクルなど
自然・緑化対策	公園や緑地・河川の整備など	生涯学習振興	文化・スポーツ活動の支援、施設の充実など
都市開発	開発・再開発、美しい街並みや景観づくりなど	産業振興	商工業の支援、企業起こしの支援、消費者対策など
災害対策	防災活動の充実、都市の不燃化など	地域活動支援	町会・自治会活動の支援、青少年の健全育成など
低所得者対策	生活の援助や自立支援など	情報提供	広報やホームページなどによる区政情報の提供など
学校教育対策	教育内容の充実、施設の改修など	男女共同参画推進	男女が平等に社会参加できるしくみづくりなど
住宅対策	良質な住宅の供給支援など	社会参加支援	NPOやボランティアの育成や支援など

今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組みを3つまであげてもらったところ、「高齢者支援」が34.1%と最も多く、次いで「交通対策」(30.0%)、「災害対策」(28.3%)の順に、上位3項目があげられている。

地域ブロック別にみると、表5 - 2 - 1のとおりである。「高齢者支援」を第1位にあげたブロックは全ブロック中7ブロックである。  
次いで、「交通対策」と「災害対策」の各々3ブロックである。

表 5 - 2 - 1 今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組み 上位5項目 (地域ブロック別)  
(%)

	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体	1,486	高齢者支援 (34.1)	交通対策 (30.0)	災害対策 (28.3)	子育て支援 (21.7)	自然・緑化対策 (18.7)
第 1 ブ ロ ッ ク	193	災害対策 (33.2)	高齢者支援 (32.1)	子育て支援 (25.4)	自然・緑化対策 (24.9)	低所得者対策 (20.2)
第 2 ブ ロ ッ ク	102	交通対策 (37.3)	高齢者支援 (30.4)	災害対策 (19.6)	住宅対策/自然・緑化対策/障害者支援 (16.7)	
第 3 ブ ロ ッ ク	98	高齢者支援 (41.8)	交通対策 (40.8)	子育て支援 (20.4)	都市開発 / 学校教育対策 (17.3)	
第 4 ブ ロ ッ ク	100	高齢者支援 (34.0)	災害対策 (31.0)	交通対策 (30.0)	子育て支援 (23.0)	都市開発 (20.0)
第 5 ブ ロ ッ ク	137	災害対策 (29.9)	高齢者支援 (29.2)	交通対策 (27.7)	自然・緑化対策 (24.8)	子育て支援 (21.9)
第 6 ブ ロ ッ ク	153	高齢者支援 (35.9)	災害対策 (32.7)	交通対策 (26.1)	子育て支援 (20.3)	学校教育対策 (19.0)
第 7 ブ ロ ッ ク	113	災害対策 (31.9)	交通対策 (31.0)	高齢者支援 (26.5)	都市開発 / 住宅対策 / 子育て支援 (22.1)	
第 8 ブ ロ ッ ク	98	高齢者支援 (37.8)	交通対策 (31.6)	災害対策 (24.5)	都市開発 (23.5)	子育て支援 (19.4)
第 9 ブ ロ ッ ク	72	交通対策 (36.1)	高齢者支援 (33.3)	災害対策 (25.0)	都市開発 (23.6)	学校教育対策 (18.1)
第 10 ブ ロ ッ ク	129	高齢者支援 (34.9)	交通対策 (26.4)	子育て支援 (25.6)	災害対策 (23.3)	低所得者対策 (16.3)
第 11 ブ ロ ッ ク	99	高齢者支援 (44.4)	災害対策 (31.3)	交通対策 (26.3)	自然・緑化対策 / 子育て支援 (25.3)	
第 12 ブ ロ ッ ク	83	交通対策 (45.8)	高齢者支援 (30.1)	災害対策 (28.9)	学校教育対策 (21.7)	自然・緑化対策 (18.1)
第 13 ブ ロ ッ ク	109	高齢者支援 (34.9)	交通対策 (33.0)	子育て支援 (27.5)	災害対策 (22.9)	学校教育対策 (21.1)

ブロック区分



性・年代別にみると、表5-2-2のとおりである。「高齢者支援」が最も多く、第1位にあげたのは5つの年代である。「交通対策」、「子育て支援」、「災害対策」は各々2つの年代で出現している。

最も少ないのは「学校教育対策」で男性40代だけの1つの年代である。

「高齢者支援」は男性は60代以降、女性は50代以降であげられている。

「子育て支援」は男女とも30代、「災害対策」は男女とも20代であげられている。

表 5 - 2 - 2 今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組み 上位5項目 (性・年代別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全	体	1,486	高齢者支援 (34.1)	交通対策 (30.0)	災害対策 (28.3)	子育て支援 (21.7)	自然・緑化対策 (18.7)
男	20代	49	災害対策 (49.0)	交通対策 (34.7)	自然・緑化対策 (28.6)	都市開発 / 子育て支援 (26.5)	
	30代	114	子育て支援 (39.5)	交通対策 (35.1)	都市開発 (27.2)	学校教育対策 (26.3)	災害対策 (24.6)
	40代	95	学校教育対策 (33.7)	交通対策 (29.5)	災害対策 (27.4)	自然・緑化対策 (22.1)	都市開発 / 子育て支援 (20.0)
性	50代	97	交通対策 (37.1)	高齢者支援 (36.1)	災害対策 (27.8)	都市開発 (18.6)	自然・緑化対策 / 子育て支援 (17.5)
	60代	133	高齢者支援 (46.6)	交通対策 (31.6)	災害対策 (30.8)	低所得者対策 (21.8)	保険衛生対策 (19.5)
	70歳以上	125	高齢者支援 (44.0)	交通対策 (25.6)	災害対策 (26.4)	低所得者対策 (20.0)	保険衛生対策 (19.2)
女	20代	85	災害対策 (41.2)	交通対策 / 子育て支援 (32.9)		都市開発 / 自然・緑化対策 (22.4)	
	30代	152	子育て支援 (48.0)	自然・緑化対策 (33.6)	災害対策 (32.9)	学校教育対策 (30.3)	交通対策 (27.6)
	40代	123	交通対策 (39.0)	災害対策 (35.0)	高齢者支援 (32.5)	学校教育対策 (29.3)	自然・緑化対策 (22.0)
性	50代	152	高齢者支援 (48.0)	交通対策 (34.9)	災害対策 (26.3)	住宅対策 (19.1)	低所得者対策 (18.4)
	60代	191	高齢者支援 (48.7)	災害対策 (27.2)	交通対策 (24.6)	都市開発 (16.8)	保険衛生対策 (16.2)
	70歳以上	143	高齢者支援 (37.8)	交通対策 (21.7)	災害対策 (14.7)	障害者支援 (14.0)	都市開発 (9.8)

居住年数別にみると5 - 2 - 3のとおりである。各々第1位は、「高齢者支援」が1年未満、10～20年未満、20年以上で、「災害対策」は1～5年未満と10～20年未満で、「子育て支援」は5～10年未満であげられいる。

表 5 - 2 - 3 今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組み 上位5項目 (居住年数別)

(%)

	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体	1486	高 齢 者 支 援 (34.1)	交 通 対 策 (30.0)	災 害 対 策 (28.3)	子 育 て 支 援 (21.7)	自 然 ・ 緑 化 対 策 (18.7)
1 年 未 満	39	高 齢 者 支 援 (30.8)	交 通 対 策 / 住 宅 対 策 / 災 害 対 策 (25.6)			子 育 て 支 援 (23.1)
1 ~ 5 年 未 満	122	災 害 対 策 (35.2)	子 育 て 支 援 (33.6)	交 通 対 策 (30.3)	都 市 開 発 (27.0)	自 然 ・ 緑 化 対 策 (23.8)
5 ~ 10 年 未 満	115	子 育 て 支 援 (38.3)	災 害 対 策 / 学 校 教 育 対 策 (27.0)		都 市 開 発 / 交 通 対 策 / 自 然 ・ 緑 化 対 策 (23.5)	
10 ~ 20 年 未 満	179	災 害 対 策 / 高 齢 者 対 策 (32.4)		交 通 対 策 (30.2)	都 市 開 発 (24.6)	学 校 教 育 対 策 (23.5)
20 年 以 上	1007	高 齢 者 支 援 (37.5)	交 通 対 策 (31.1)	災 害 対 策 (27.2)	子 育 て 支 援 (19.8)	自 然 ・ 緑 化 対 策 (17.4)

今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組みを昨年と比較すると、表5 - 2 - 4のとおりである。平成16年と平成17年全体で第1位、第2位の取り組みの順位は変わらないがその率は低下している。平成16年は第3位が「子育て支援」（21.2%）であったが、平成17年全体の第3位「災害対策」（28.3%）となっている。

表 5 - 2 - 4 今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組み 上位5項目の推移

		高齢者支援	交通対策	子育て支援	自然・緑化対策	都市開発
平成16年の順位	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体	1,497	38.5	31.1	21.2	19.6	16.8
男 性	643	35.9	35.1	18.4	21.3	18.8
女 性	854	40.5	28.1	23.3	18.4	15.2

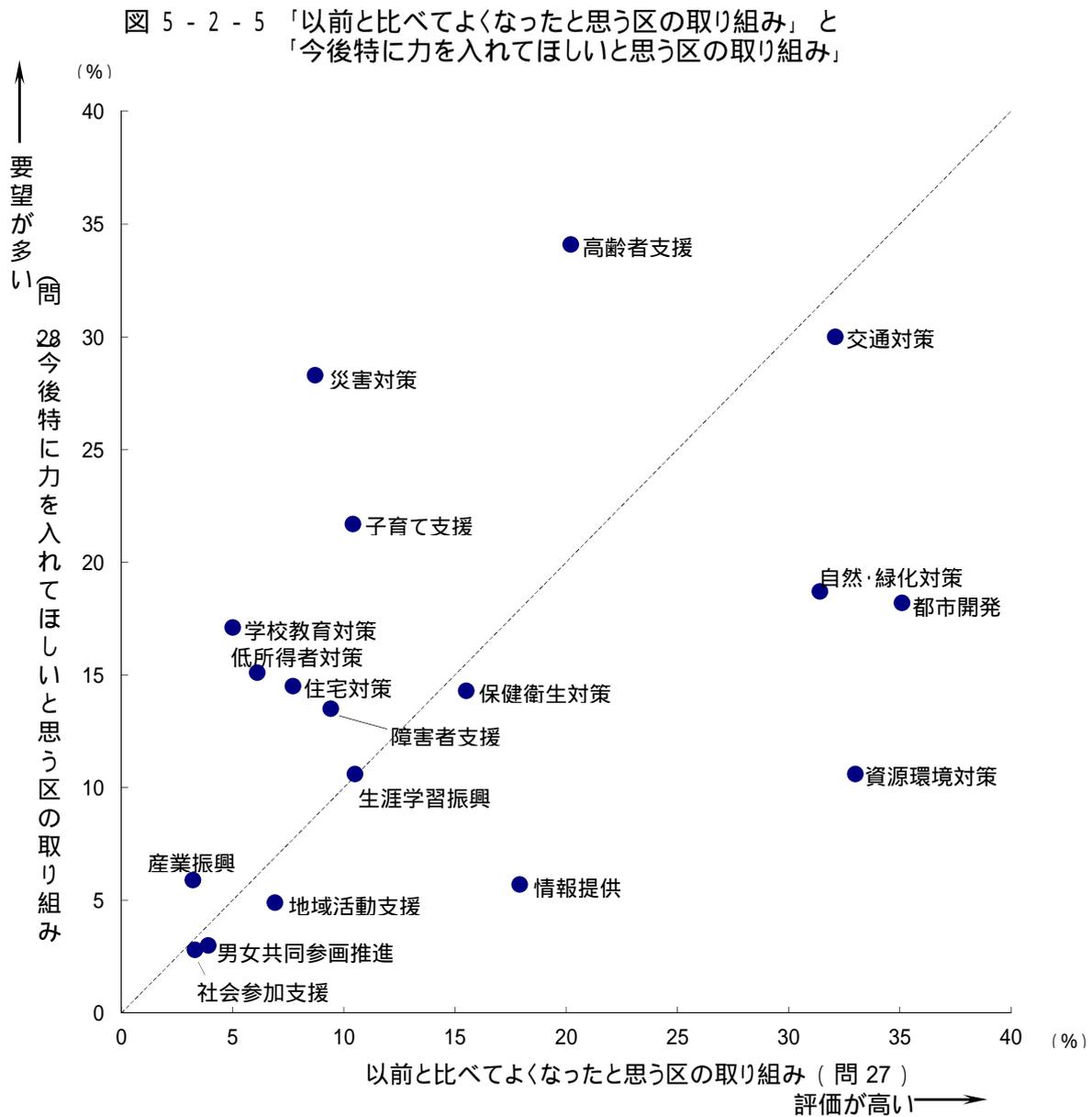
  

平成17年の順位	n	第1位	第2位	第4位	第5位	第6位
全 体	1,486	34.1	30.0	21.7	18.7	18.2
男 性	613	32.1	32.0	21.9	20.1	19.9
女 性	847	36.4	29.5	22.2	18.3	17.2

平成16年と平成17年の差						
全 体	*	-4.4	-1.1	+0.5	-0.9	+1.4
男 性	*	-3.8	-3.1	+3.5	-1.2	+1.1
女 性	*	-4.1	+1.4	-1.1	-0.1	+2.0

問27の「以前と比べてよくなったと思う区の取り組み」と問28の「今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組み」を比較対照すると、図5 - 2 - 5のとおりである。以前と比べてよくなったと思う率が高い項目は順に「都市開発」、「資源環境対策」、「交通対策」、「自然・緑化対策」となっている。そのうち、今後特に力を入れてほしい率も高いのは「高齢者支援」と「交通対策」である。



参考 今後力を入れてほしいと思う区の取り組みの推移

(平成12年まで 訪問面接法)

問 区で最も力を入れてやってほしい対策を、この中から2つまでお答えください。  
(は2つまで)

(%)

	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
平成5年	1,551	高齢者福祉 (31.5)	ごみ・リサイクル 対策 (18.2)	住宅対策 (14.8)	保健医療の充実 (14.2)	交通網の整備 (12.7)
平成6年	1,549	高齢者福祉 (41.8)	ごみ・リサイクル 対策 (17.0)	住宅対策 (15.2)	交通網の整備 (14.3)	保健医療の充実 (13.2)
平成7年	1,500	高齢者福祉 (36.9)	ごみ・リサイクル 対策 (16.3)	防災対策 (15.1)	交通網の整備 (13.0)	住宅対策 (12.1)
平成8年	1,512	高齢者福祉 (43.9)	保健医療の充実 (20.0)	ごみ・リサイクル 対策 (16.5)	交通網の整備 (14.1)	住宅対策 (14.0)
平成9年	1,533	高齢者福祉 (42.3)	保健医療の充実 (23.7)	交通網の整備 (12.2)	防災対策 (10.8)	住宅対策 (8.8)
平成10年	1,497	高齢者福祉 (39.3)	保健医療の充実 (19.9)	交通網の整備 (12.6)	住宅対策 (10.8)	道路の整備 (9.2)
平成11年	1,503	高齢者福祉 (45.4)	保健医療の充実 (17.2)	ごみ・リサイクル 対策 (15.0)	幼児・児童福祉 (10.4)	交通網の整備 (9.8)
平成12年	1,420	高齢者福祉 (37.7)	保健医療の充実 (16.9)	ごみ・リサイクル 対策 (16.2)	交通網の整備 (10.7)	幼児・児童福祉 (9.5)

(平成13年以降 郵送配布郵送回収法)

問 あなたが、今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組みを次の中から3つまで  
選んでください。(は3つまで)

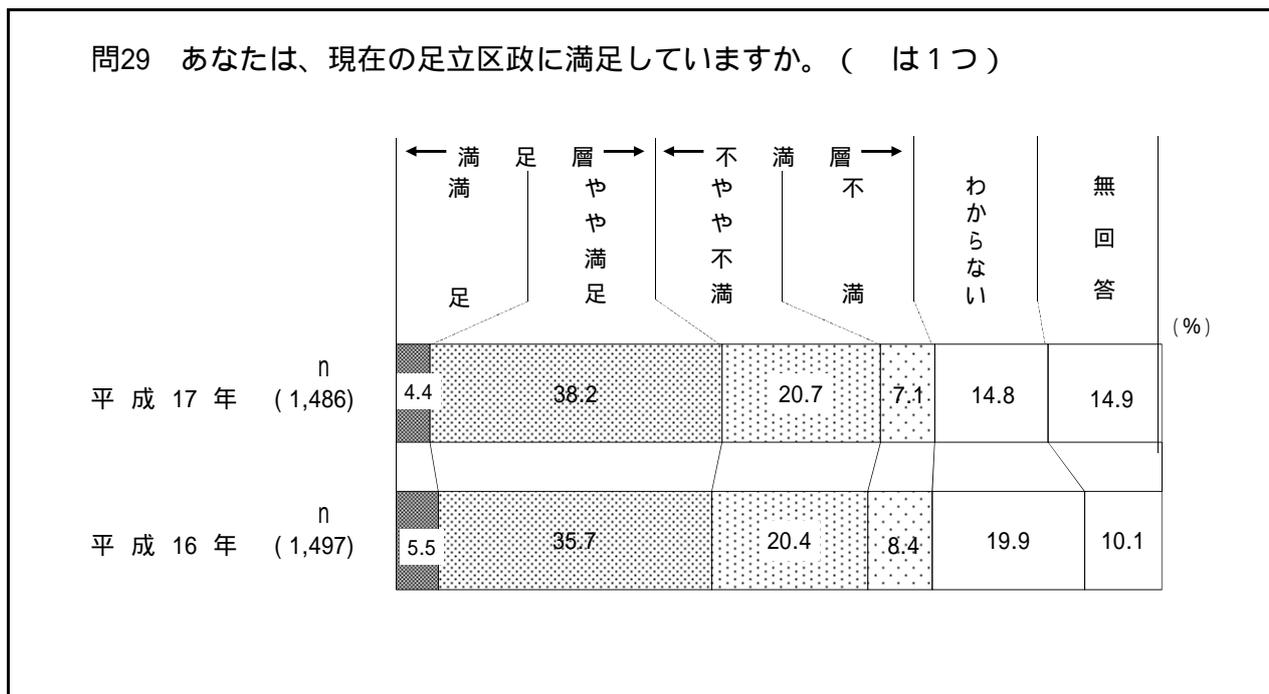
(%)

	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
平成13年	1,907	高齢者支援 (35.9)	交通対策 (29.1)	都市開発 (16.9)	子育て支援 (16.8)	住宅対策 (16.7)
平成14年	1,808	高齢者支援 (36.6)	交通対策 (33.4)	都市開発 (20.4)	資源環境対策 (19.1)	自然・緑化対策 (18.0)
平成15年	1,890	交通対策 (33.9)	高齢者支援 (33.1)	自然・緑化対策 (20.6)	都市開発 (20.0)	子育て支援 (19.8)
平成16年	1,497	高齢者支援 (38.5)	交通対策 (31.1)	子育て支援 (21.2)	自然・緑化対策 (19.6)	都市開発 (16.8)
平成17年	1,486	高齢者支援 (34.1)	交通対策 (30.0)	災害対策 (28.3)	子育て支援 (21.7)	自然・緑化対策 (18.7)

(注) 平成12年までと平成13年以降では、調査方法(平成12年までは訪問面接法、13年以降は郵送配布郵送回収法)、質問文、選択肢が異なるため、結果を単純に比較することはできない。

### (3) 区政に対する満足度

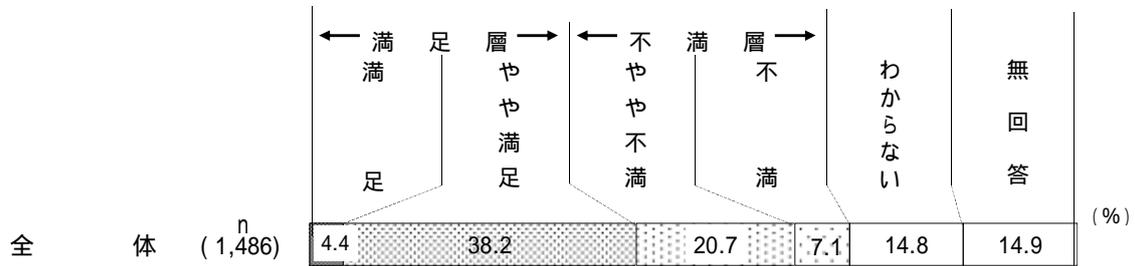
《満足層》は昨年より上昇



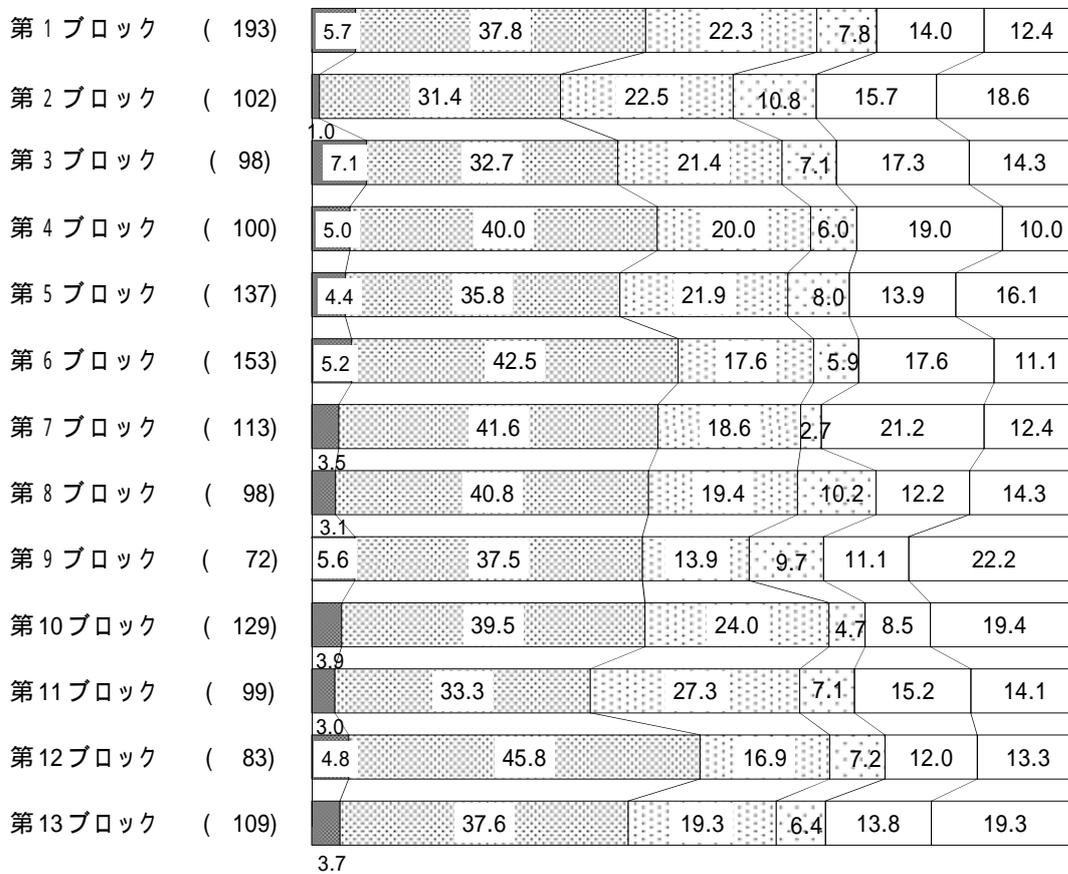
区政に対する満足度を聞いたところ、「満足」という人が4.4%、「やや満足」が38.2%で、これらを合わせた《満足層》は42.6%である。また「不満」の7.1%と「やや不満」の20.7%を合わせた《不満層》は27.8%である。平成16年と比較すると、《満足層》は41.2%から42.6%へ1.4ポイント上昇している。

地域ブロック別にみると、図5-3-1のとおりである。《満足層》が《不満層》を上回っているのは13ブロック中12ブロックであり、第12ブロックでは《満足層》が50%を超えている。これに対し、《不満層》が30%を超えているのは第1、第2、第11ブロックである。

図 5 - 3 - 1 区政に対する満足度（地域ブロック別）



地域ブロック別

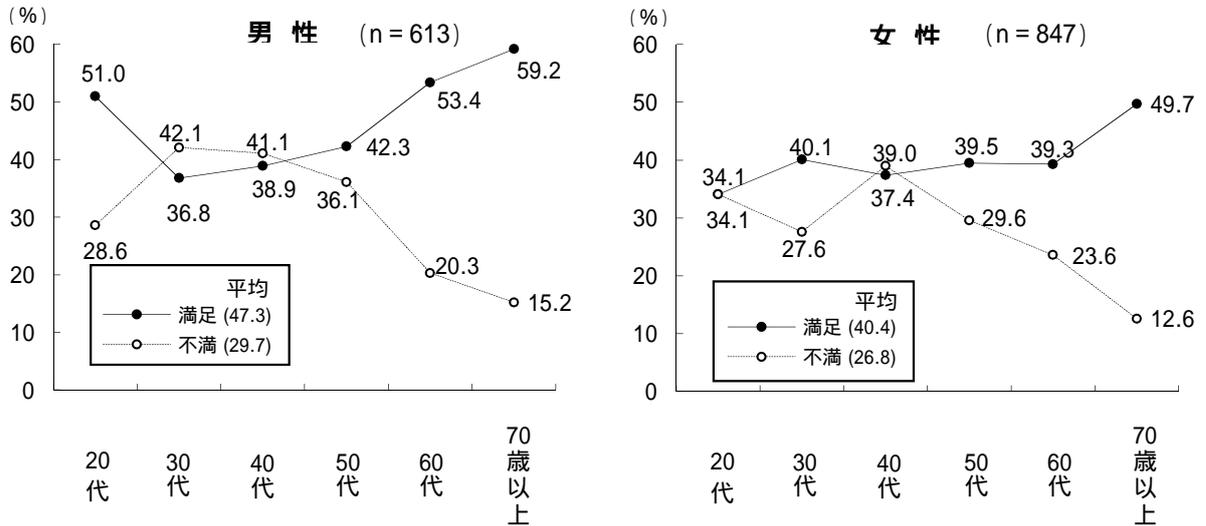


ブロック区分



性・年代別にみると、図5-3-2のとおりである。男性30代、40代、女性20代、40代を除いたすべての年代で《満足層》が《不満層》を上回っている。男女とも70歳以上は《満足層》と《不満層》の差が最も大きい。

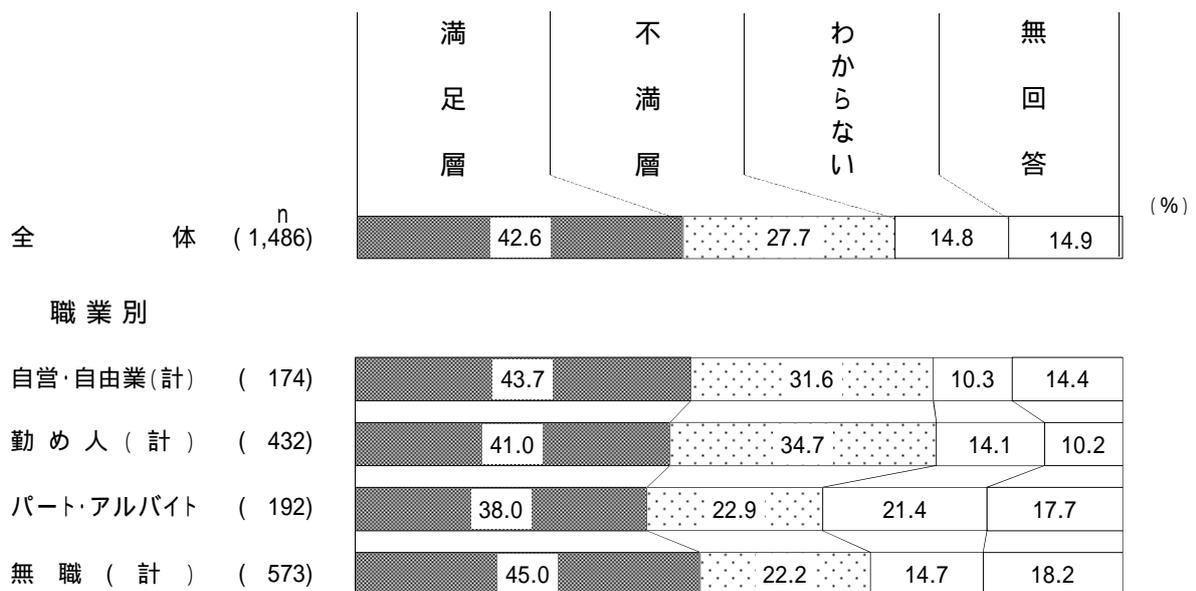
図 5 - 3 - 2 区政に対する満足度（性・年代別）



男性 n = (49) (114) (95) (97) (133) (125) 女性 n = (85) (152) (123) (152) (191) (143)

職業別にみると、図5-3-3のとおりである。《満足層》は自営・自由業（計）で43.7%と最も多く、《不満層》は勤め人（計）で34.7%と最も多い。

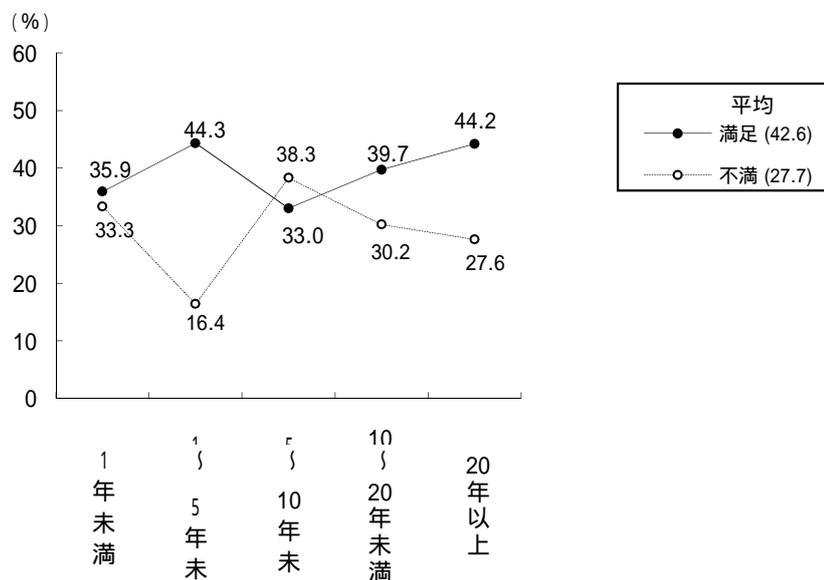
図 5 - 3 - 3 区政に対する満足度（職業別）



居住年数別にみると、図5-3-4のとおりである。《満足層》が高いのは、40%台で1～5年未満と20年以上である。

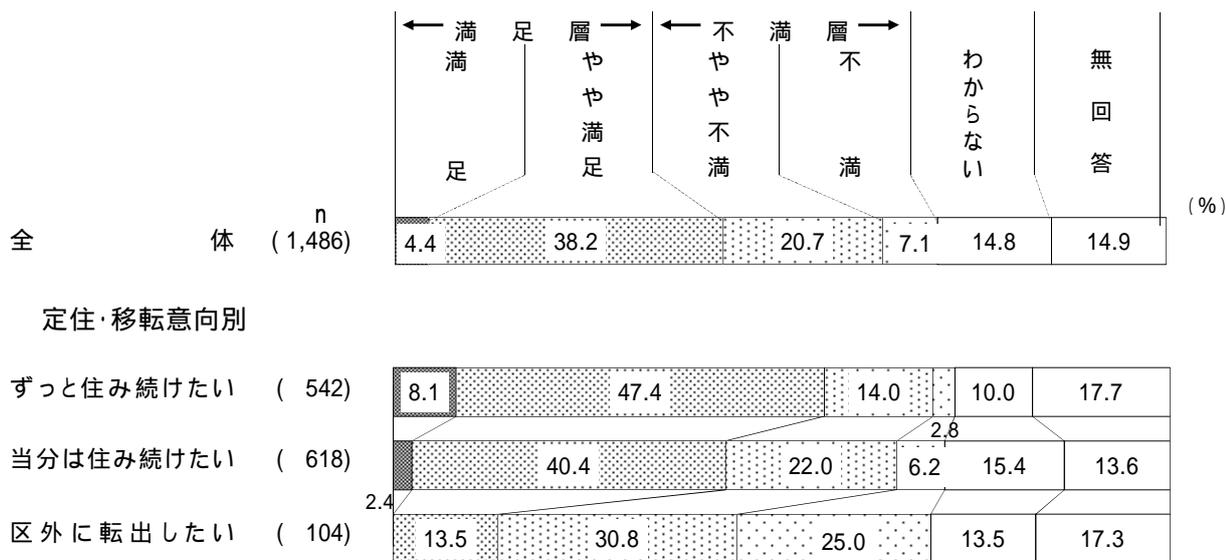
《満足層》と《不満層》のひらきが大きいのは1～5年未満である。

図 5 - 3 - 4 区政に対する満足度（居住年数別）



定住・移転意向別にみると、図5-3-5のとおりである。《満足層》はずっと住み続けたいと考えている人では55.5%と半数以上で、当分住み続けたいと考えている人は42.8%、区外に転出したいと考えている人になると13.5%に激減する。

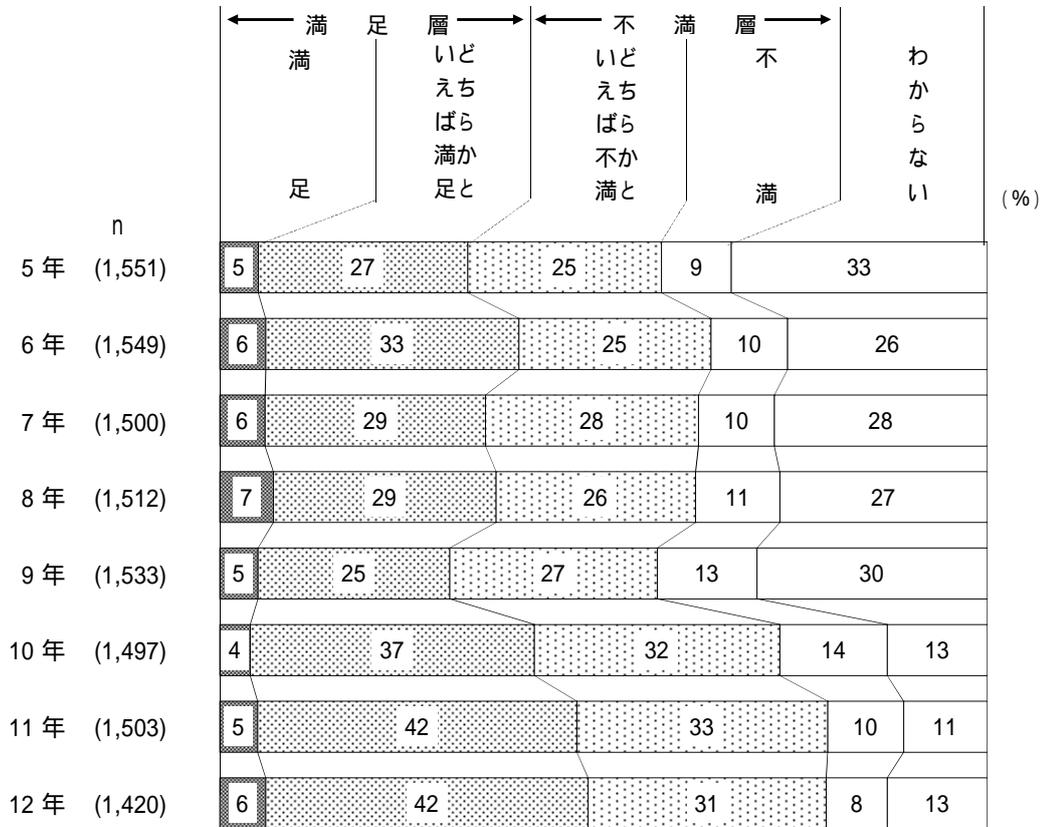
図 5 - 3 - 5 区政に対する満足度（定住・移転意向別）



参考 区政に対する満足度の推移

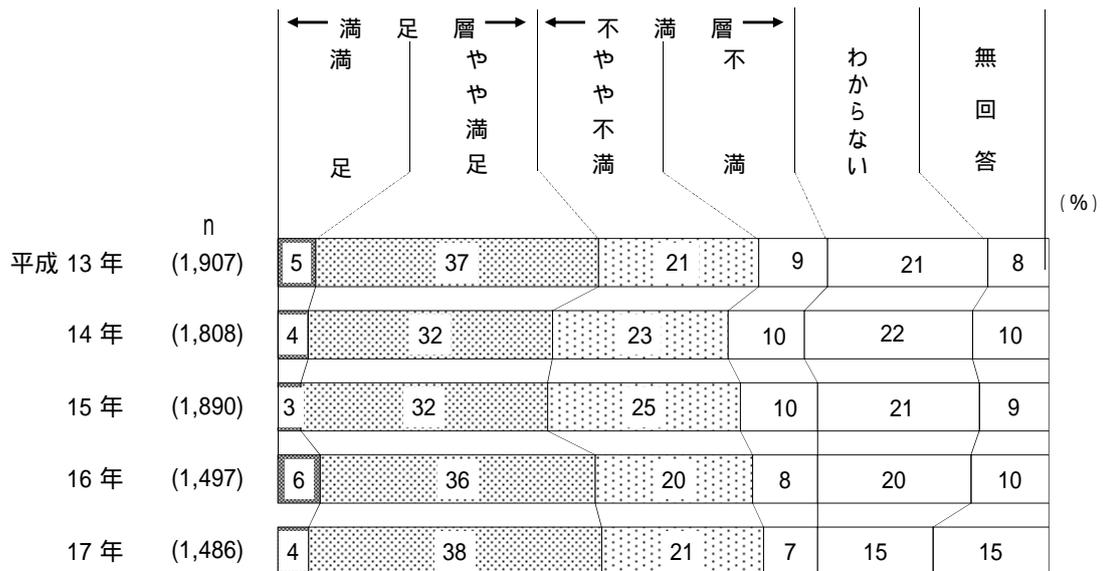
(平成 12 年まで 訪問面接法)

問 あなたは、現在の足立区政に満足していますか。この中から 1 つお答えください。  
( は1つ)



(平成 13 年以降 郵送配布郵送回収法)

問 あなたは、現在の足立区政に満足していますか。( は1つ)

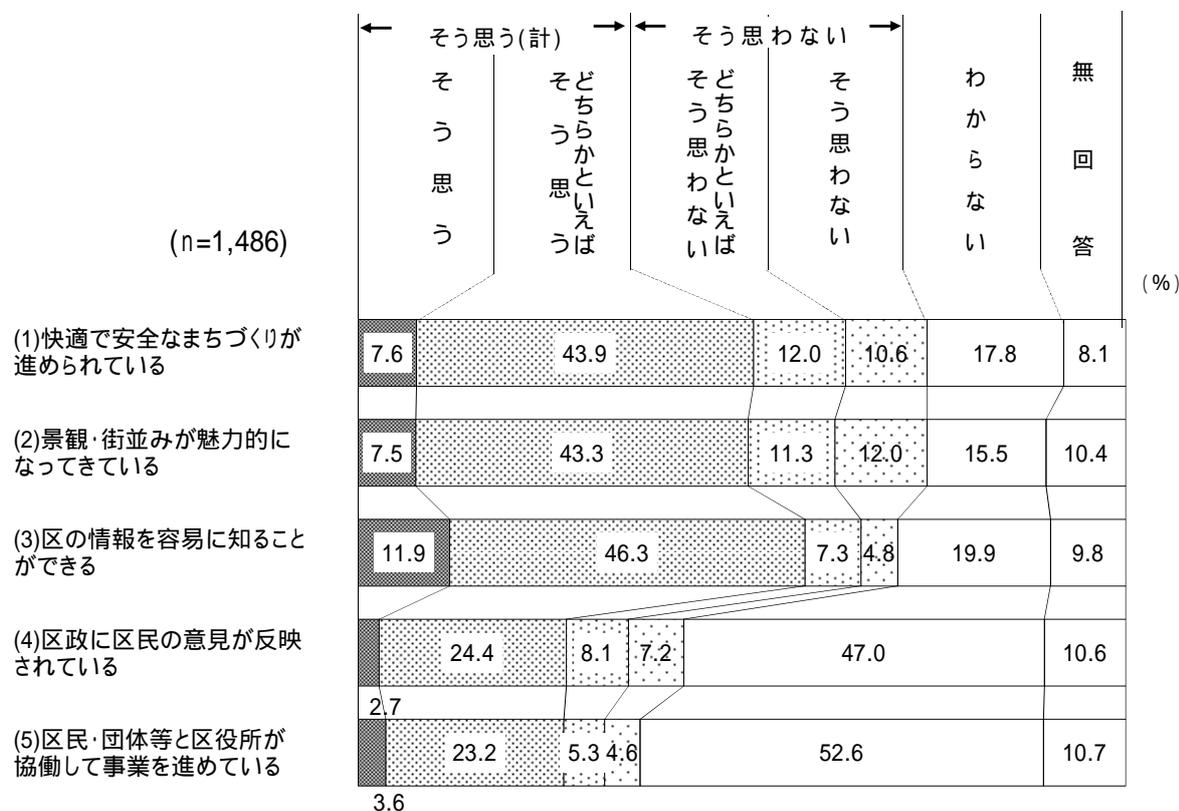


(注) 平成 12 年までと平成 13 年以降では、調査方法 (平成 12 年までは訪問面接法、13 年以降は郵送配布郵送回収法)、質問文、選択肢が異なるため、結果を単純に比較することはできない。

#### (4) 区の実施についての評価・印象

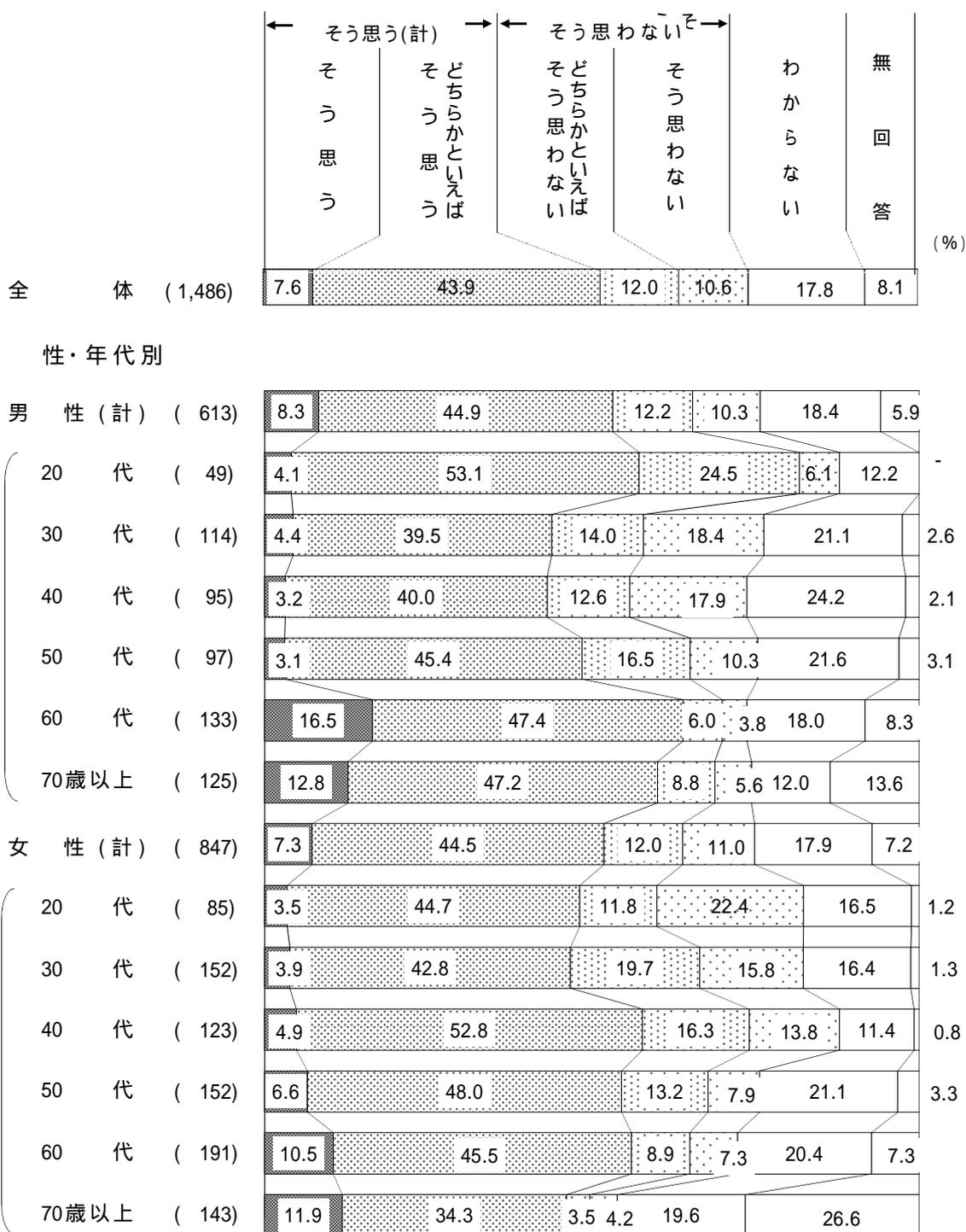
「(3) 区の情報を知ることができる」が58.2%で最も高い

問30 次の区の実施について、あなたはどのように感じていますか。  
 (1)～(5)のそれぞれについてお答えください。(1は1つ)  
 また、「3.どちらかといえばそう思わない」「4.そう思わない」を選んだ方は、  
 その理由もお答えください。



「(3) 区の情報を知ることができる」が58.2%で最も高い。

図 5 - 4 - 1 (1)快適で安全なまちづくりが進められている(性・年代別)



性・年代別で見ると図5 - 4 - 1のとおりである。各々の取り組みについて、60%台を示しているのは「区の情報を知ることができる」で、男性30代、50代、60代、70歳以上、女性30代、50代、60代である。他に「景観・街並みが魅力的になってきている」で男性60代(62.4%)があげられる。

図 5 - 4 - 1 (2)景観・街並みが魅力的になってきている(性・年代別)

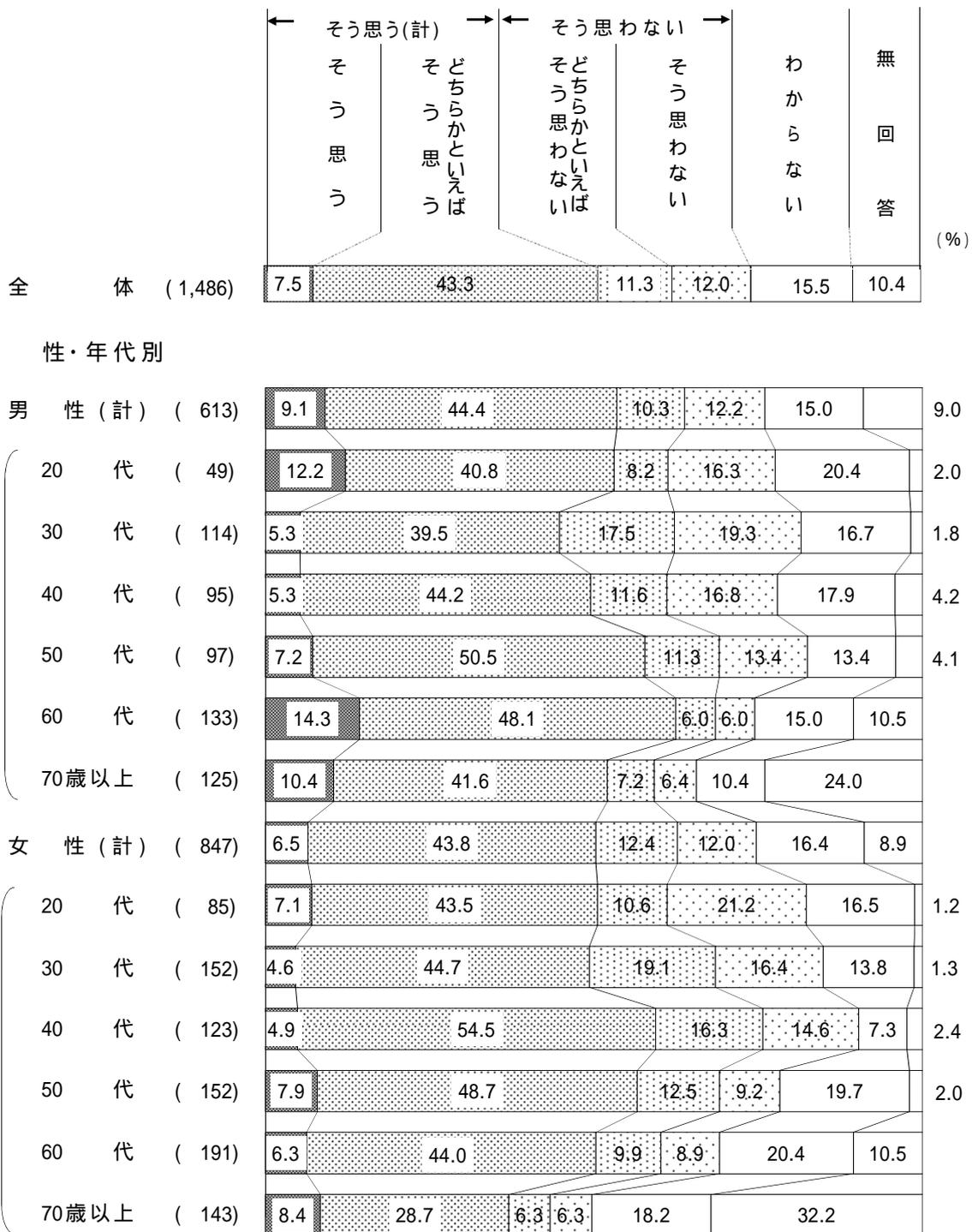


図 5 - 4 - 1 (3)区の情報を容易に知ることができる(性・年代別)

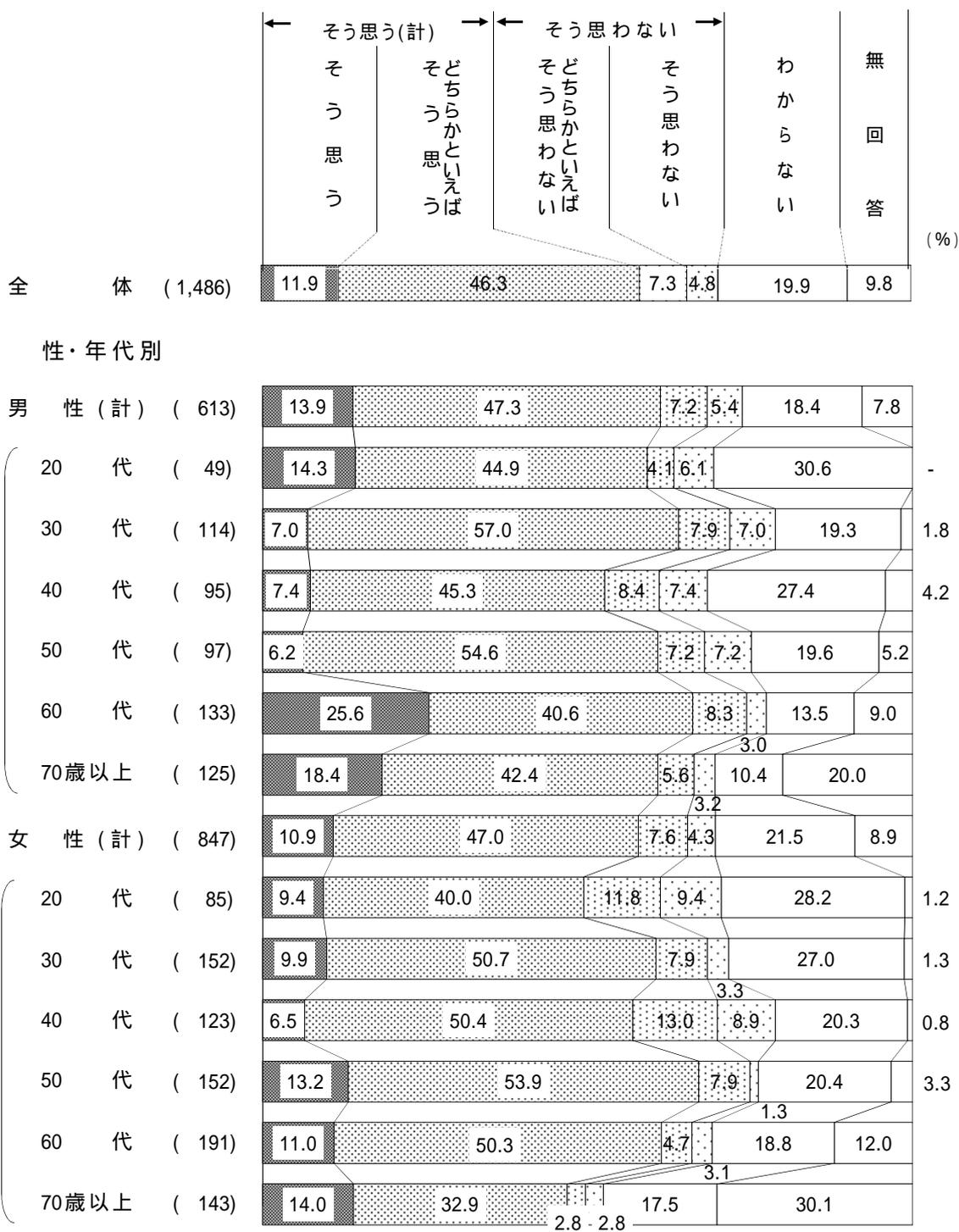


図 5 - 4 - 1 (4)区政に区民の意見が反映されている(性・年代別)

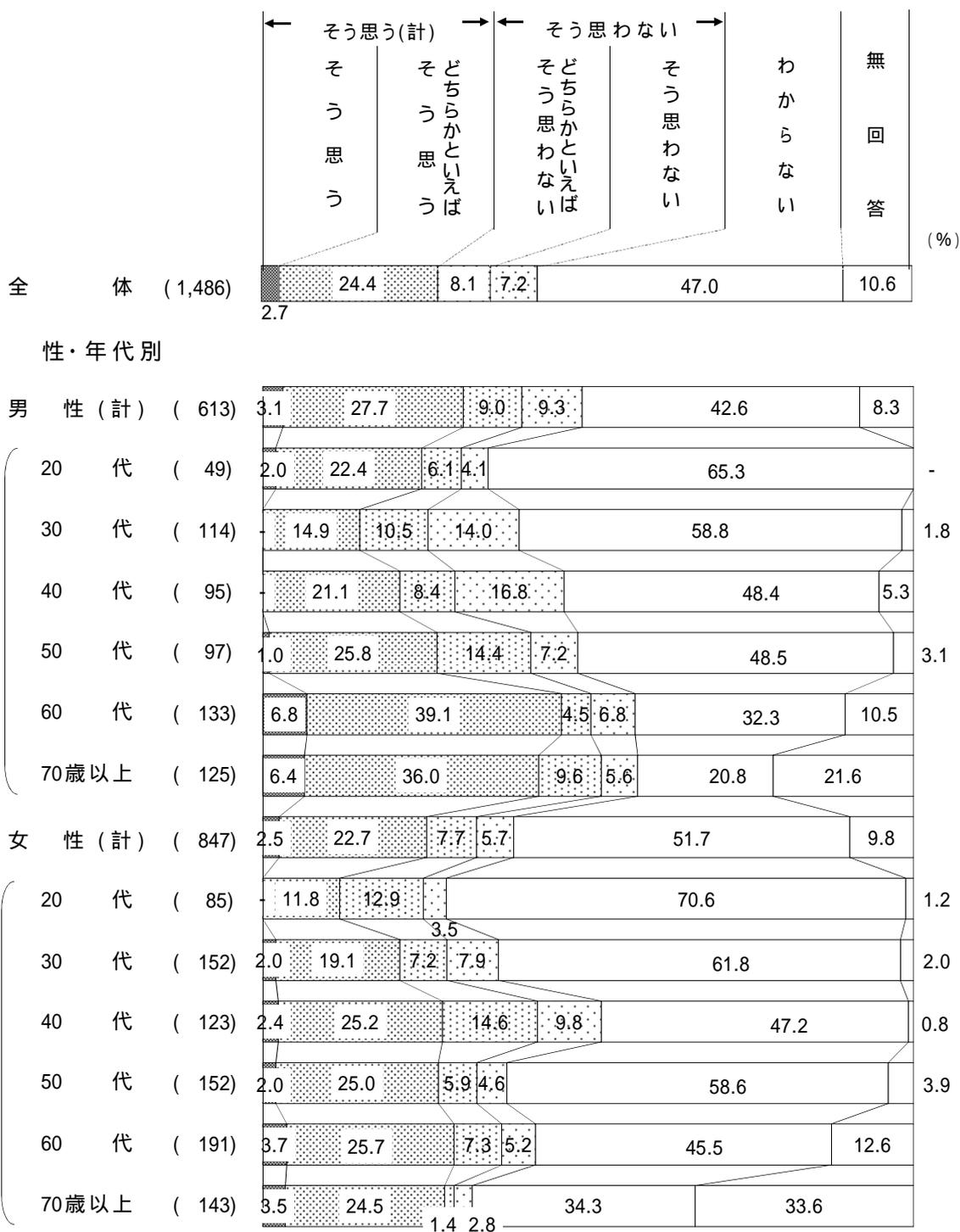
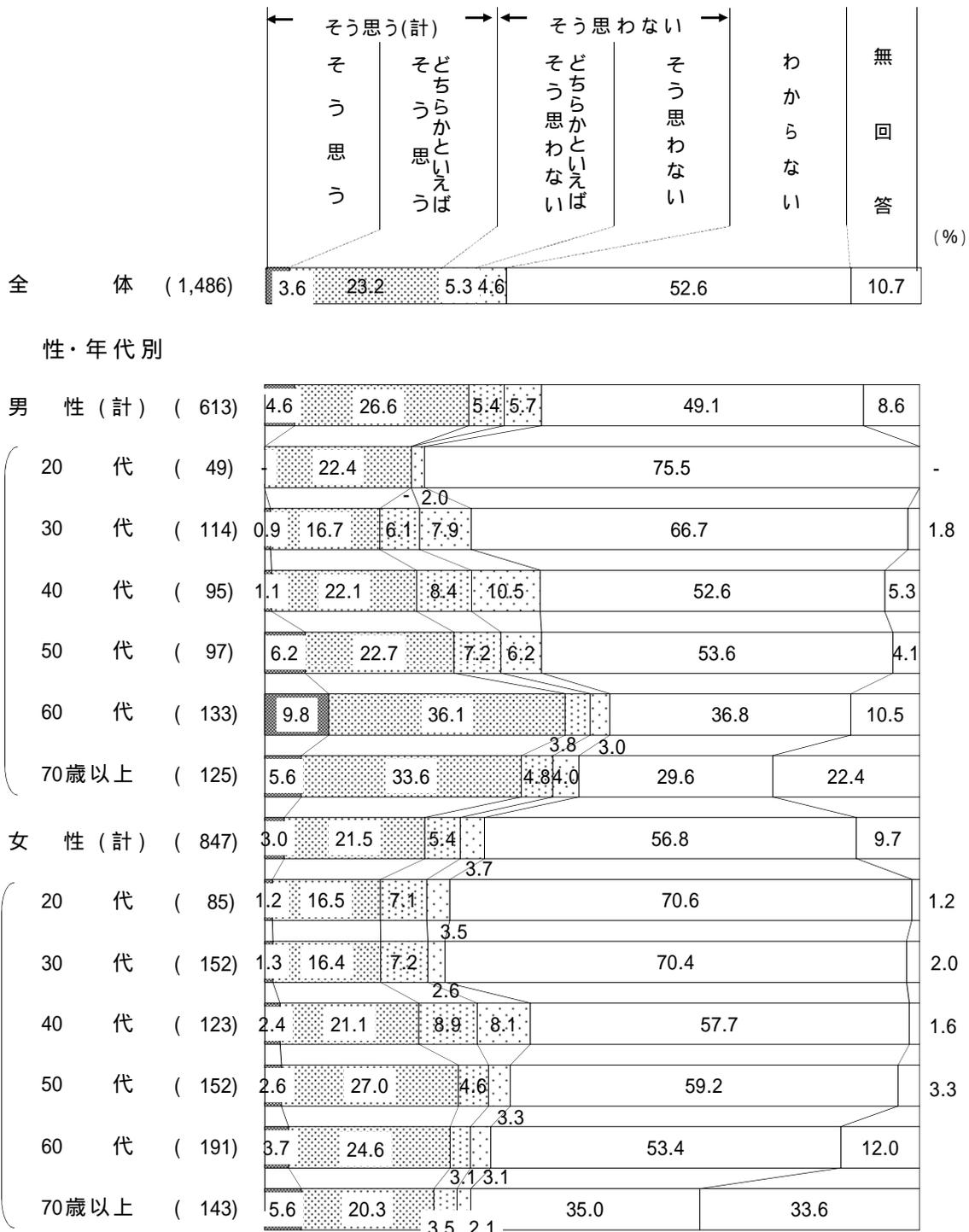
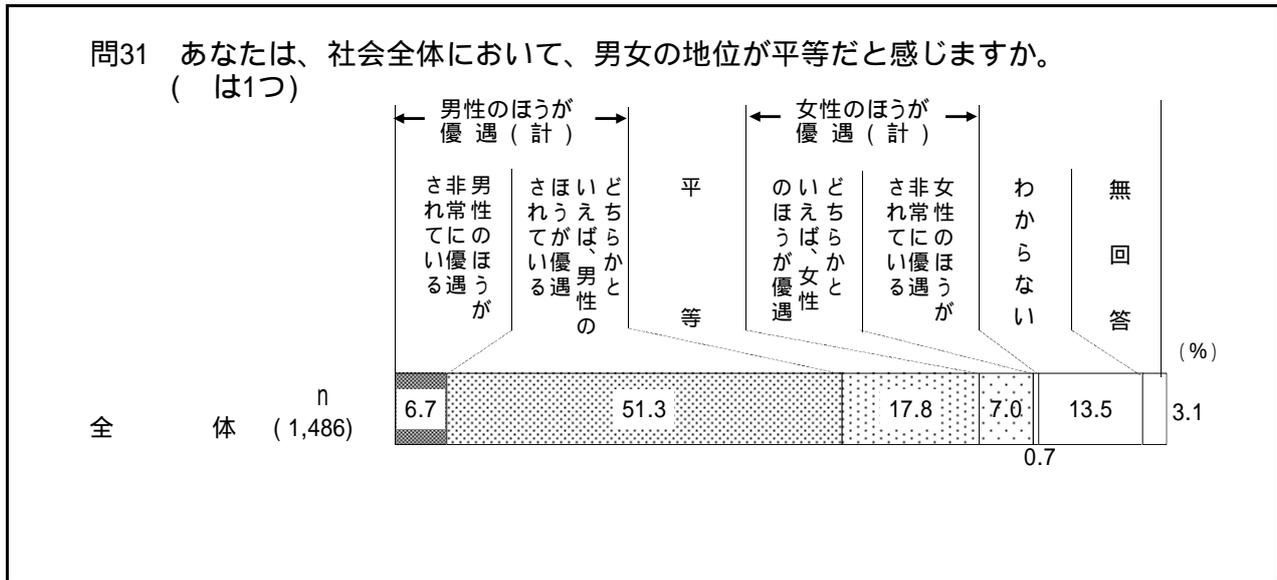


図 5 - 4 - 1 (5)区民・団体等と区役所が協働して事業を進めている(性・年代別)



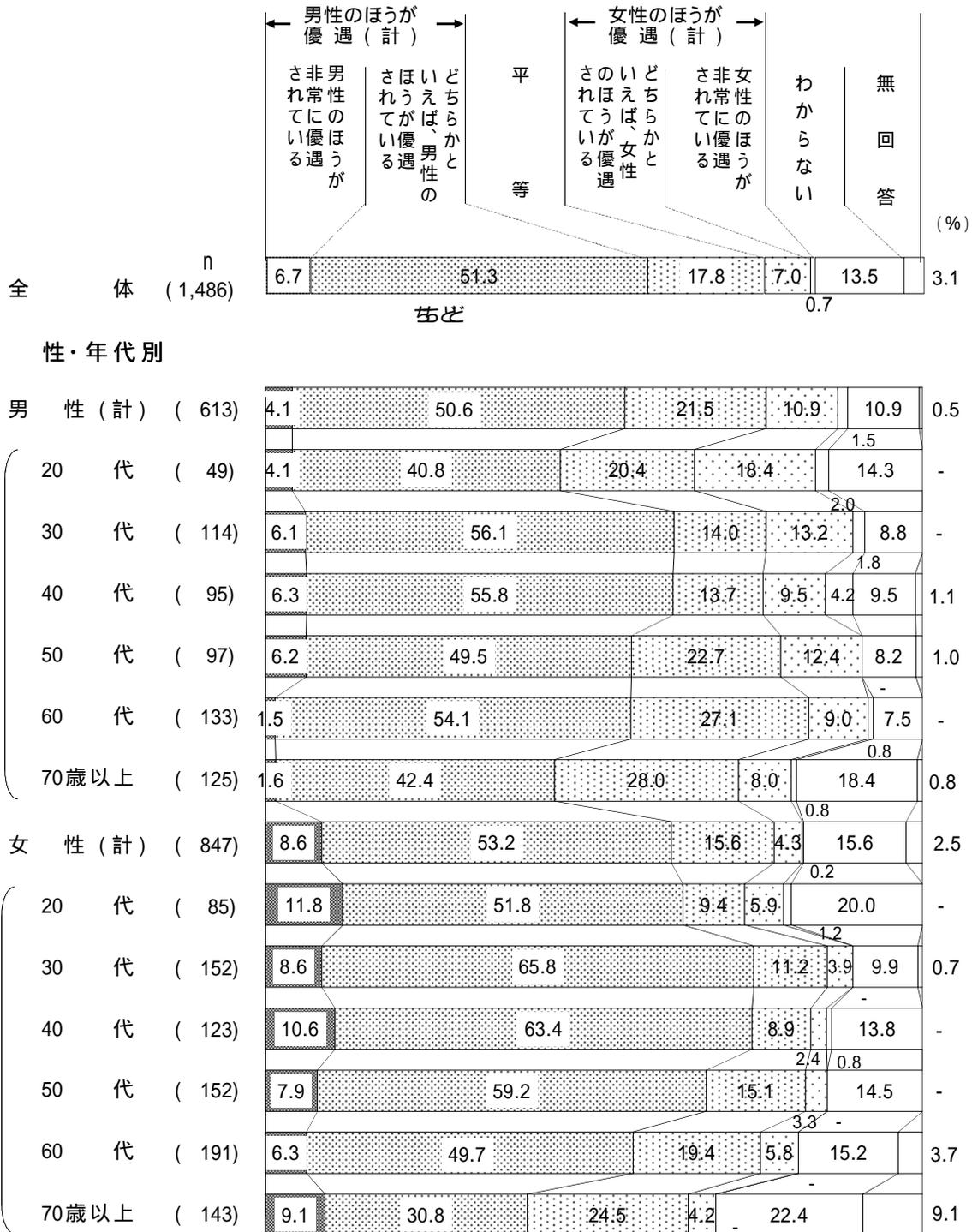
## (5) 男女の地位の平等観

「男性のほうが優遇」が60%弱を占める



「男性の方が優遇」が60%弱を占める一方で「女性の方が優遇」は7.7%にすぎない。他方、「平等」も17.8%にとどまっている。

図 5 - 5 - 1 男女の地位の平等観 (性・年代別)



性・年代別にみると図5-5-1のとおりである。「男性の方が優遇」は女性30代、40代が74%台で最も高い。また、「女性の方が優遇」は女性30代、40代、50代が3%台で最も低い。